

10/19/40

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

04342630 **Image available**

PROCESSOR FOR VARIOUS REPORTING OPERATION OF FINANCIAL INSTITUTION

PUB. NO.: 05-334330 [JP 5334330 A]

PUBLISHED: December 17, 1993 (19931217)

INVENTOR(s): AONO MOTOAKI

APPLICANT(s): NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP
(Japan)

APPL. NO.: 04-142537 [JP 92142537]

FILED: June 03, 1992 (19920603)

INTL CLASS: [5] G06F-015/30; G06F-015/30; G07D-009/00

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications);
29.4

(PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines)

JAPIO KEYWORD: R087 (PRECISION MACHINES -- Automatic Banking); R107
(INFORMATION PROCESSING -- OCR & OMR Optical Readers)

JOURNAL: Section: P, Section No. 1714, Vol. 18, No. 169, Pg. 155,
March 22, 1994 (19940322)

ABSTRACT

PURPOSE: To perform a manned handling operation processing for various report application of the financial institution concentrically at a remote place.

CONSTITUTION: On the side of a various-report application device, an application form, a seal impression, and an identification card with a face photograph are inputted from an input part a102 as image data when necessary, and then transmitted by a reception/transmission part a112 to a various-report receiving device. On the side of the various-report receiving device, the sent image data are received by a reception/transmission part b203 through a line equipment part 202 and reproduced. A part which is necessary as character data is recognized by an optical character recognition part 208. The person himself is confirmed by the image transmission of the identification card with the face photograph and a comparison with the face which is inputted from an image input part a106 and displayed at an image display part b206. Therefore, even a person who hardly goes to a bank within the financial institution service time can

DX
242

easily apply various reports, the improvement of customer service and the reduction of the operation cost are achieved by the relaxation of the congestion at a counter and the rearrangement of clerks to other places.

etc., and accurate customer information is obtained to enable efficient

information business such as public relations business.

(51)IntCl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/30	A	8320-5L		
	3 3 0	8320-5L		
// G 0 7 D 9/00	4 5 1 Z	8513-3E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 7 頁)

(21)出願番号 特願平4-142537

(22)出願日 平成4年(1992)6月3日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 青野 元昭

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内

(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

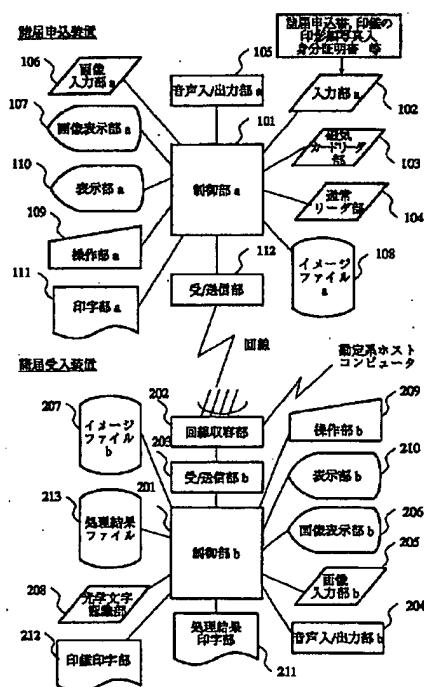
(54)【発明の名称】 金融機関における諸届業務処理装置

(57)【要約】

【目的】金融機関における諸届申込に対する有人対応業務処理を遠隔地にて集中的に行う。

【構成】諸届申込装置側では、申込書と印鑑の印影と顔写真入身分証明書等を必要に応じて入力部 a 1 0 2 からイメージデータとして入力し、受/送信部 a 1 1 2 より諸届受入装置へ伝送する。諸届受入装置側では、伝送されてきたイメージデータを回線収容部 2 0 2 を介して受/送信部 b 2 0 3 で受信し、再現する。文字データとして必要な部分は光学文字認識部 2 0 8 で認識する。本人確認は、顔写真入身分証明書のイメージ伝送と、画像入力部 a 1 0 6 から入力され、画像表示部 b 2 0 6 に表示される顔とを比較して行う。

【効果】金融機関営業時間内に店舗に出向くことが困難な人々でも諸届申込が容易に行え、また、店頭窓口の混雑の緩和及び人員の他業務への配置等により、顧客サービスの向上、業務コスト削減が図れ、さらに、正確な顧客情報の入手により、効率的な渉外業務等の情報系業務が行える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 諸届申込書及び身分証明書及び印影の印鑑を読み取りイメージデータに変換する入力部と、前記イメージデータを蓄える第一のイメージファイルと、前記イメージデータを表示する第一の表示部と、磁気カードの磁気ストライプ内のデータを読み取る磁気カードリーダー部と、通帳の磁気ストライプ内のデータを読み取る通帳リーダー部と、音声を入力しデジタル信号に変換しかつ送られてきた音声のデジタル信号を音声に変換する第一の音声入／出力部と、画像を入力しデジタル信号に変換する第一の画像入力部と、送られてきた画像のデジタル信号を画像に変換し表示する第一の画像表示部と、業務選択・暗証番号・口座番号のデータの入力及び送信を指示する第一の操作部と、前記業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及び前記カード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及び前記イメージデータ及び前記音声・画像のデジタル信号を伝送する第一の送信部と、送られてきた処理結果データ及び音声・画像のデジタル信号を受信する第一の受信部と、前記処理結果データを印字する印字部と、前記各部の機能を制御する第一の制御部とからなる諸届申込装置と、複数の前記諸届申込装置及びホストコンピュータと通信を行うための回線を収容する回線収容部と、前記回線収容部で収容した前記諸届申込装置から送られてきた業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及びカード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及びイメージデータ及び音声・画像のデジタル信号を受信する第二の受信部と、前記イメージデータを蓄える第二のイメージファイルと、前記イメージデータの所定の箇所を文字データに変換する光学文字認識部と、前記業務選択・口座番号のデータ及び前記カード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及び前記光学文字認識部で変換された文字データ及び前記イメージデータを表示する第二の表示部と、音声を入力しデジタル信号に変換しかつ前記諸届申込装置から送られてきた音声のデジタル信号を音声に変換する第二の音声入／出力部と、画像を入力しデジタル信号に変換する第二の画像入力部と、前記諸届申込装置から送られてきた画像のデジタル信号を画像に変換し表示する第二の画像表示部と、諸届受入操作及び印字指示・前記変換後の文字データの修正・追加指示を行う第二の操作部と、前記業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及び前記カード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及び前記修正・追加処理された文字データを前記ホストコンピュータに伝送しかつ前記処理された文字データである処理結果データ及び前記音声・画像のデジタル信号を前記諸届申込装置に伝送する第二の送信部と、前記印鑑の印影のイメージデータを赤色で再現する印鑑印字部と、前記処理結果データを印刷する処理結果印字部と、前記処理結果データを保存する処理結果ファイルと、前記各部の機能を制御する第二の制御部とからなる諸届受入装置とを備えること

を特徴とする金融機関における諸届業務処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、金融機関における諸届業務処理に関し、特に営業時間外・無人化店舗における諸届申込に対する有人対応を、遠隔地にて集中的に行う諸届業務処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、諸届業務（口座開／閉、住所変更、印鑑の紛失／変更、通帳／カードの紛失／発見／再発行）処理は、平日9時から15時までの金融機関営業時間内に、店舗窓口にて顔写真付身分証明書等で本人確認を行った後、一対一の有人対応で行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の諸届業務処理では、平日9時から15時までの金融機関営業時間内という限られた時間帯でしか諸届業務が行えないため、有職者等金融機関営業時間内に金融機関店舗に出向くことが困難な人々には不便である。

【0004】実際、諸届申込者にとって緊急性の乏しい住所変更届処理は行われていない場合が多い。また、本人確認等有人対応が必要であるため、最近増加傾向にある無人化店舗では処理が行えないという欠点がある。

【0005】さらに、金融機関窓口の混雑の原因にもなっている。

【0006】本発明の目的は、諸届申込装置側と諸届受入装置側とを回線で接続し、金融機関における諸届申込に対する有人対応業務処理を遠隔地にて集中的に行うことにより、上記の欠点を解消し、例えば、平日9時から15時までの金融機関店頭窓口営業時間内に店舗に出向くことが困難な人々でも諸届申込を容易に行い、また、店頭窓口の混雑の緩和及び人員の他業務への配置等により、顧客サービスの向上、業務コスト削減を図り、さらに、正確な顧客情報の入手により、効率的な渉外業務等の情報系業務を行うことを可能とする金融機関における諸届業務処理装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の金融機関における諸届業務処理装置は、諸届申込書及び身分証明書及び印影の印鑑を読み取りイメージデータに変換する入力部と、イメージデータを蓄える第一のイメージファイルと、イメージデータを表示する第一の表示部と、磁気カードの磁気ストライプ内のデータを読み取る磁気カードリーダー部と、通帳の磁気ストライプ内のデータを読み取る通帳リーダー部と、音声を入力しデジタル信号に変換しかつ送られてきた音声のデジタル信号を音声に変換する第一の音声入／出力部と、画像を入力しデジタル信号に変換する第一の画像入力部と、送られてきた画像のデジタル信号を画像に変換し表示する第一の画像表示部と、業務選択・暗証番号・口座番号のデータの入力及び送信

を指示する第一の操作部と、業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及びカード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及びイメージデータ及び音声・画像のデジタル信号を伝送する第一の送信部と、送られてきた処理結果データ及び音声・画像のデジタル信号を受信する第一の受信部と、処理結果データを印字する印字部と、各部の機能を制御する第一の制御部とからなる諸届申込装置と、複数の諸届申込装置及びホストコンピュータと通信を行うための回線を収容する回線収容部と、回線収容部で収容した諸届申込装置から送られてきた業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及びカード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及びイメージデータ及び音声・画像のデジタル信号を受信する第二の受信部と、イメージデータを蓄える第二のイメージファイルと、イメージデータの所定の箇所を文字データに変換する光学文字認識部と、業務選択・口座番号のデータ及びカード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及び光学文字認識部で変換された文字データ及びイメージデータを表示する第二の表示部と、音声を入力しデジタル信号に変換しかつ諸届申込装置から送られてきた音声のデジタル信号を音声に変換する第二の音声入／出力部と、画像を入力しデジタル信号に変換する第二の画像入力部と、諸届申込装置から送られてきた画像のデジタル信号を画像に変換し表示する第二の画像表示部と、諸届受入操作及び印字指示・変換後の文字データの修正・追加指示を行う第二の操作部と、業務選択・暗証番号・口座番号のデータ及びカード／通帳の磁気ストライプ内のデータ及び修正・追加処理された文字データをホストコンピュータに伝送しかつ処理された文字データである処理結果データ及び音声・画像のデジタル信号を諸届申込装置に伝送する第二の送信部と、印鑑の印影のイメージデータを赤色で再現する印鑑印字部と、処理結果データを印刷する処理結果印字部と、処理結果データを保存する処理結果ファイルと、各部の機能を制御する第二の制御部とからなる諸届受入装置とを備えている。

【0008】

【実施例】次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0009】図1は本発明の一実施例の金融機関における諸届業務処理装置のブロック図である。

【0010】図1において、本実施例の金融機関における諸届業務処理装置は、諸届申込装置と諸届受入装置とから構成される。

【0011】諸届申込装置は、周辺装置の制御およびプログラムの実行を行うことの可能な装置、または、装置の組み合わせである制御部a101を中心として、入力部a102と、磁気カードリーダー部103と、通帳リーダー部104と、音声入／出力部a105と、画像入力部a106と、画像表示部a107と、イメージファイルa108と、操作部a109と、表示部a110と、印

字部111と、受／送信部a112が、それぞれ制御部a101にその周辺装置として接続されている。

【0012】入力部a102は、諸届申込書、印鑑の印影、顔写真入身分証明書等をイメージデータとして読み取り、制御部a101に出力する。

【0013】磁気カードリーダー部103は、磁気カードの磁気ストライプ内の口座番号等のデータを読み取り、制御部a101に出力する。

【0014】通帳リーダー部104は、通帳の磁気ストライプ内の口座番号等のデータを読み取り、制御部a101に出力する。

【0015】音声入／出力部a105は、申込者の音声デジタル信号に変換し、制御部a101に出力する。また、後述の諸届受入装置から送られてきた係員の音声のデジタル信号を制御部a101の指示により音声に変換して出力する。

【0016】画像入力部a106は、申込者の顔を画像データとして取り込み、デジタル信号に変換し、制御部a101に出力する。

【0017】画像表示部a107は、後述の諸届受入装置から送られてきた係員の顔の画像データのデジタル信号を制御部a101の指示により画像として表示する。

【0018】イメージファイルa108は、入力部a102から入力された諸届申込書、印鑑の印影、顔写真入身分証明書等のイメージデータを制御部a101の指示に基づき出力、格納される。

【0019】操作部a109は、諸届業務の選択、暗証番号・口座番号等の入力、入力部a102から入力されたイメージデータの表示部a110への表示指示、イメージデータの伝送指示等を制御部a101に行う。

【0020】表示部a110は、制御部a101の指示により申込者の操作誘導指示の表示、イメージデータの表示を行う。

【0021】印字部a111は、制御部a101の指示により諸届申込成立の証拠となる処理結果証明書を印字し、発行する。

【0022】受／送信部a112は、制御部a101の指示により上記データ、イメージデータ、音声・画像データのデジタル信号を後述の諸届受入装置に伝送する。また、後述の諸届受入装置から送られてきた処理結果データ、音声・画像データのデジタル信号を受信し、制御部a101に出力する。

【0023】また、諸届受入装置は、周辺装置の制御及びプログラムの実行を行うことの可能な装置または装置の組み合わせである制御部b201を中心として、回線収容部202と、受／送信部b203と、音声入／出力部b204と、画像入力部b205と、画像表示部b206と、イメージファイルb207と、光学文字認識部208と、操作部b209と、表示部b210と、処理結果印字部211と、印鑑印字部212と、処理結果フ

ファイル213とがそれぞれ制御部b201にその周辺装置として接続され、構成されている。

【0024】回線収容部202は、複数の諸届申込装置及び金融機関の勘定系ホストコンピュータと通信を行うための回線を収容する。

【0025】受/送信部b203は、諸届申込装置から送られてきた上記データ、イメージデータ、音声・画像のデジタル信号を受信し、制御部b201へ出力する。また、制御部b201の指示により処理結果データ、音声・画像データのデジタル信号を諸届申込装置へ送信する。さらに、制御部b201の指示により金融機関の勘定系ホストコンピュータと、申込者の口座番号・暗証番号等の送/受信及び処理結果の送/受信を行い、制御部b201へ出力する。

【0026】音声入/出力部b204は、係員の音声をデジタル信号に変換し、制御部b201へ出力する。また、諸届申込装置から送られてきた申込者の音声のデジタル信号を、制御部b201の指示により変換して出力する。

【0027】画像入力部b205は、係員の顔を画像データとして取り込み、デジタル信号に変換し、制御部b201に出力する。

【0028】画像表示部b206は、諸届申込装置から送られてきた申込者の顔の画像データのデジタル信号を制御部b201の指示により画像として表示する。

【0029】イメージファイルb207は、受/送信部b203が受信した諸届申込書、印鑑の印影、顔写真入身分証明書等のイメージデータを制御部b201の指示により一時的に格納する。

【0030】光学文字認識部208は、制御部b201の指示により諸届申込書のイメージデータを認識し、文字データとして制御部b201に出力する。

【0031】操作部b209は、イメージファイルb207に蓄積された諸届申込書、印鑑の印影、顔写真入身分証明書のイメージデータを表示部b210に表示させる指示を行う機能と、光学文字認識部208で認識された文字データの修正・追加を行う機能と、諸届受入結果をホストコンピュータ及び諸届申込装置へ伝送指示する機能と、イメージデータと、修正後文字データと、諸届受入結果を処理結果印字部211に印字指示及び処理結果ファイル213に格納指示を行う機能と、印鑑の印影のイメージデータを印鑑印字部212に再現指示する機能とを有する。

【0032】表示部b210は、制御部b201の指示により係員の操作誘導指示の表示、イメージデータ、修正後文字データの表示を行う。

【0033】処理結果印字部211は、制御部b201の指示によりイメージデータ及び修正後文字データ及び諸届受入結果の印字を行う。

【0034】印鑑印字部212は、制御部b201の指

示により印鑑の印影のイメージデータを赤色で再現する。

【0035】処理結果ファイル213は、制御部b201の指示により諸届受入処理結果を長期的に保存する。

【0036】次に、本実施例の金融機関における諸届業務処理装置の動作について図面を参照して説明する。

【0037】可能処理は、口座開/閉、通帳/カードの紛失/発見/再発行届、印鑑の紛失/変更届、住所変更届等とする。

【0038】まず金融機関の営業店及び無人化店舗のフロアに設置された諸届申込装置の動作について図面を参照して説明する。

【0039】図1において、申込者は、諸届申込装置の音声入/出力部a105と、画像入力部a106と、画像表示部a107及び諸届受入装置の音声入/出力部b204と、画像入力部b205と、画像表示部b206とからなるTV電話機により係員と交信する。係員の指示及び表示部a110に表示される操作誘導指示に基づき、操作部a110より諸届業務を選択する。その後の操作も同様に、TV電話による係員の指示及び表示部a110に表示される操作誘導指示に基づき行う。

【0040】申込者は、入力部a102より諸届申込書及び印鑑の印影をイメージデータとして読み取らせる。入力部a102はイメージデータを制御部a101に出力し、制御部a101の指示により表示部a110はイメージデータを表示する。申込者は、表示部a110に表示されたイメージデータを確認後、操作部a109から伝送の指示を行う。操作部a109からの指示に基づき制御部a101は、一時的にイメージデータをイメージファイルa108に格納し、次の伝送指示を受けることが可能となる。受/送信部a112は、制御部a101の指示により後述の諸届受入装置側が受信可能な状態になった時にイメージファイルa108に格納されているイメージデータを伝送する。

【0041】続いて、本人確認の動作を説明する。

【0042】キャッシュカード/通帳と暗証番号でよい場合は、磁気カードリーダー部103/通帳リーダー部104より磁気ストライプの内容を読み取らせ、操作部a109より暗証番号を入力し、それぞれのデータを制御部a101に出力する。受/送信部a112は、制御部a101の指示により諸届受入装置にデータを伝送する。キャッシュカード/通帳がない場合及びそれ以外の本人確認が必要な場合は、入力部a102より顔写真入身分証明書をイメージデータとして読み取らせ、制御部a101に出力する。受/送信部a112は、制御部a101の指示により諸届受入装置にイメージデータを伝送する。

【0043】さらに、申込終了動作を説明する。

【0044】諸届受入装置側の本人確認処理及び諸届受入処理が終了し、処理結果が諸届受入装置から伝送され

てくると、受／送信部 a 1 1 2 が受信し、制御部 a 1 0 1 へ出力する。制御部 a 1 0 1 の指示により印字部 1 1 1 は諸届受入処理完了の証拠となる証明書を印字して発行する。この一連の動作により、イメージファイル a 1 0 8 に格納されたイメージデータを制御部 a 1 0 1 の指示に基づき削除する。

【0045】次に、処理センタに設置される諸届受入装置の動作について図面を参照して説明する。

【0046】係員はTV電話によって申込者と交信し、操作指示を行う。回線収容部 2 0 2 は、複数の諸届申込装置との通信の制御を制御部 b 2 0 1 の指示に基づき行う。諸届申込装置から送られてきた諸届申込書及び印鑑の印影のイメージデータを受／送信装置 b 2 0 3 が受信し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 はイメージデータを表示部 b 2 1 0 に表示し、イメージファイル b 2 0 7 に格納する。さらに、イメージデータ内の文字認識する必要のある部分を光学文字認識部 2 0 8 に出力する。光学文字認識部 2 0 8 は、イメージデータを文字データとして認識し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 は認識後の文字データを表示部 b 2 1 0 に表示する。表示部 b 2 1 0 の画面分割制御は制御部 b 2 0 1 が行う。係員はイメージデータと認識後の文字データとを比較し、修正する必要がある場合、操作部 b 2 0 9 より修正を行う。また、追加する必要がある場合も同様に操作部 b 2 0 9 より入力を行う。

【0047】続いて、本人確認の動作を説明する。

【0048】キャッシュカード／通帳と暗号番号でよい場合は、前述した諸届申込装置側の処理後、伝送されてきたデータを受／送信部 b 2 0 3 が受信し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 は、データを金融機関の勘定系ホストコンピュータに受／送信部 b 2 0 3 を介して伝送する。ホストコンピュータはデータと元帳データとの照合を行い、結果を伝送する。受／送信部 b 2 0 3 は、その結果を受信し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 は結果を表示部 b 2 1 0 に表示する。また、キャッシュカード／通帳がない場合及びそれ以外の本人確認が必要な場合は、前述した諸届申込装置側の処理後、伝送されてきた顔写真入身分証明書のイメージデータを受／送信部 b 2 0 3 が受信し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 はデータを表示部 b 2 1 0 に表示する。係員は表示部 b 2 1 0 に表示された顔写真とTV電話機の画像表示部 b 2 0 6 に表示された申込者の顔とを比較する。確認後、イメージデータを操作部 b 2 0 9 からの指示により制御部 b 2 0 1 に出力し、制御部 b 2 0 1 の指示によりイメージファイル b 2 0 7 に格納する。

【0049】さらに、受入終了動作を説明する。

【0050】本人確認終了後、修正、追加後の文字データを操作部 b 2 0 9 の入力指示により制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 は、データを受／送信部 b 2

0 3 を介して金融機関の勘定系ホストコンピュータに伝送する。ホストコンピュータはそのデータに基づき元帳の追加／変更を行う。係員は、操作部 b 2 0 9 より処理終了の指示を入力し、制御部 b 2 0 1 に出力する。制御部 b 2 0 1 は処理終了データを受／送信部 b 2 0 3 を介して諸届申込装置へ伝送する。また、制御部 b 2 0 1 の指示によりイメージファイル b 2 0 7 から必要なイメージデータを取り出し、処理結果印字部 2 1 1 が印刷し、必要部分に印鑑印字部 2 1 2 が印鑑の印影を赤色で再現する。さらに、制御部 b 2 0 1 の指示により処理結果を処理結果ファイル 2 1 3 に格納する。この一連の動作によりイメージファイル b 2 0 7 に格納されたイメージデータを制御部 b 2 0 1 の指示に基づき削除する。係員は出力印字結果を申込者の口座を有する店舗にメール等で郵送する。一連の動作で諸届受入処理が完結しない場合は、各店舗にて追加処理を行う。

【0051】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の金融機関における諸届業務処理装置は、口座開／閉、住所変更届、印鑑の紛失／変更届、通帳／カードの紛失／発見／再発行届等の金融機関における有人対応が必要な諸届業務処理を遠隔地にて集中的に行うことにより、平日 1 5 時以降、土、日曜の金融機関営業時間外や対応係員のいない無人化店舗においても諸届業務を有人対応にて行うことが可能となり、有職者等金融機関営業時間内に店舗に出向くことが困難な人々でも諸届申込が容易に行えるという効果がある。

【0052】また、営業時間内においても本発明の装置を利用することにより、店頭窓口の混雑の緩和及び人員の他業務への配置等が行え、顧客サービスの向上、業務コスト削減が図れるという効果がある。

【0053】さらに、住所変更が確実に行われるようになれば、正確な顧客情報が得られることになり、その顧客情報を利用した効率的な渉外業務等の情報系業務が行えるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施例の金融機関における諸届業務処理装置のブロック図である。

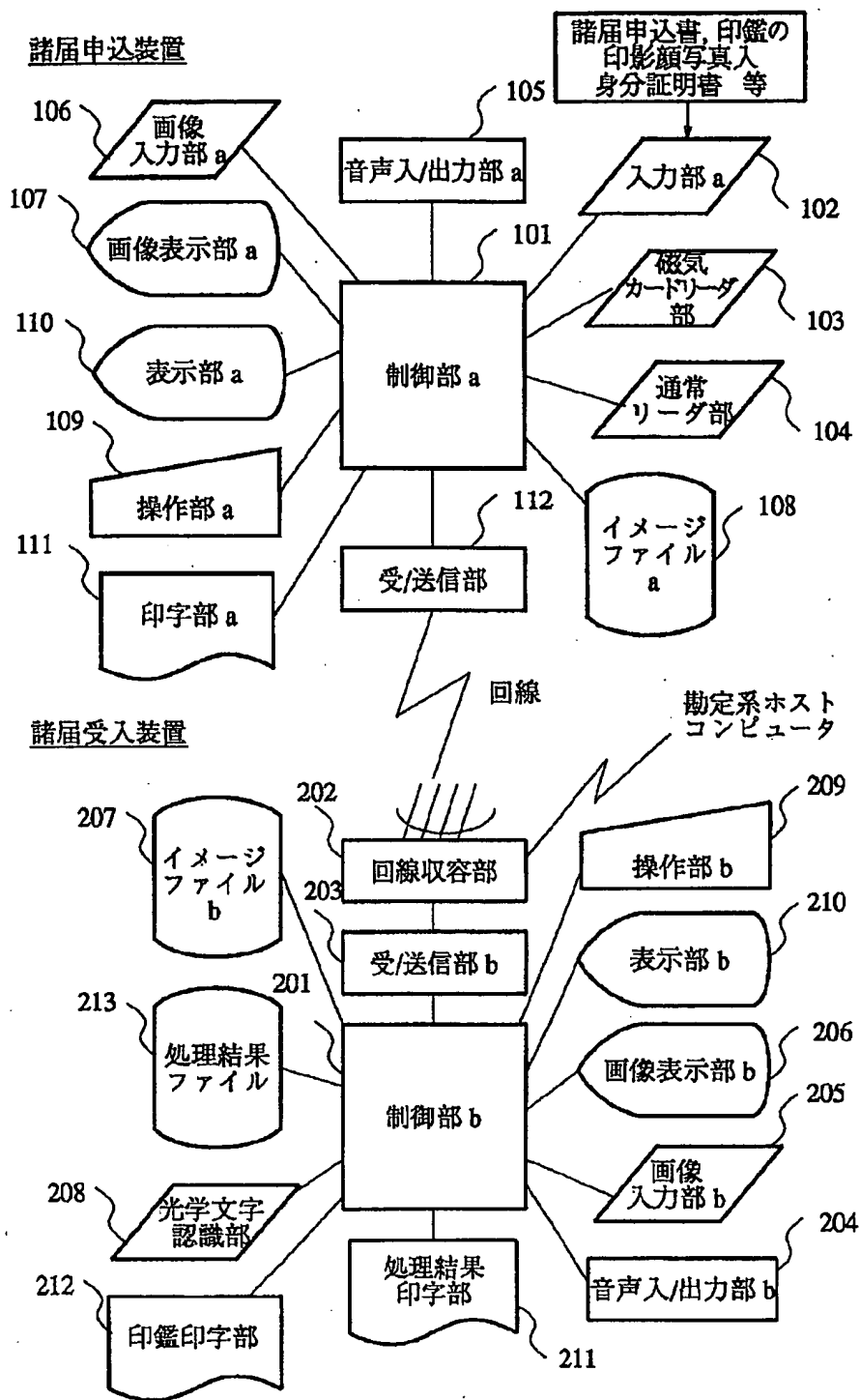
【符号の説明】

- | | |
|-------|------------|
| 1 0 1 | 制御部 a |
| 1 0 2 | 入力部 a |
| 1 0 3 | 磁気カードリーダ部 |
| 1 0 4 | 通帳リーダ部 |
| 1 0 5 | 音声入／出力部 a |
| 1 0 6 | 画像入力部 a |
| 1 0 7 | 画像表示部 a |
| 1 0 8 | イメージファイル a |
| 1 0 9 | 操作部 a |
| 1 1 0 | 表示部 a |
| 1 1 1 | 印字部 |

1 1 2 受／送信部 a
2 0 1 制御部 b
2 0 2 回線収容部
2 0 3 受／送信部 b
2 0 4 音声入／出力部 b
2 0 5 画像入力部 b
2 0 6 画像表示部 b

2 0 7 イメージファイル b
2 0 8 光学文字認識部
2 0 9 操作部 b
2 1 0 表示部 b
2 1 1 処理結果印字部
2 1 2 印鑑印字部
2 1 3 処理結果ファイル

【図1】



this Page Blank (uspto)